

## HPE OpenVMS for Integrity Servers

---

# アップデート・キット VMS84I\_UPDATE V1100 リリース・ノート

2016 年 4 月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I\_UPDATE-V1100 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

---

© 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP.

本書の著作権は Hewlett Packard Enterprise Development LP が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett Packard Enterprise Development LP の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HPE and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HPE nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HPE products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

#### DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HPE BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HPE OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I\_UPDATE-V1100 ECO Cover Letter』と各パッチキットのリリース・ノートの情報を元に作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 キットの概要</b>	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストールの必要性	1-1
1.3.2 リポートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-2
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-3
<b>2 インストールに関する注意事項</b>	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストールのためのコマンド	2-1
2.4 インストール時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-3
<b>3 VMS84I_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題</b>	
3.1 新機能	3-1
3.2 解決される問題	3-1
3.2.1 LAVC\$FAILURE_ANALYSIS が、問題のあったネットワークコンポーネントの動作再開時に、OPCOM "%LAVC-S-WORKING.."を表示しない問題	3-1
3.2.2 特定のインタフェースで、LAVC プロシージャがクラスタ通信を開始する時に、バグチェック "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL"でシステムがクラッシュする問題	3-2
3.2.3 IPL8 フォークキューの破壊のため、バグチェック "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL"でシステムがクラッシュする問題	3-2
3.2.4 SCS/IOLOCK8 スピンロック競合の問題	3-3
3.2.5 AVIO ストレージドライバーでのアラインメントフォールトの問題	3-3
3.2.6 2TB を超えるディスクで、ディスク初期化が失敗する問題	3-4

3.2.7	テープデバイスを構成するときに、INVEXCEPTN バグチェックで OpenVMS システムクラッシュする問題	3-4
3.2.8	PKMDRIVER によって引き起こされるノンページブール破損のため OpenVMS システムは INVEXCEPTN バグチェックでクラッシュする問題	3-4
3.2.9	デバイスのプライマリ・パスが MSCP に設定されていると、SDA 拡張コマンド FC PERFORMANCE は、データの表示に失敗する問題	3-5
3.2.10	LTT ソフトウェアは、QLOGIC ISP2532 (8G FC) カードを介して接続されているデバイスをスキャンし検出することができない問題	3-5
3.2.11	LSI 1030 SCSI アダプターを介して接続された MSA30 エンクロージャ内のディスクから OpenVMS をブートするとハングする問題	3-6
3.2.12	論理 LAN デバイスでジャンボフレームを有効にすると、バッファサイズが不正な値となる問題	3-6
3.2.13	OpenVMS 8.4 LAT 制御プログラム (LATCP) がハングする問題	3-7
3.2.14	相互接続モジュールがない場合に、NC364 モジュールでリンクのフラップが発生する問題	3-7
3.2.15	UCB リストの処理中に "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でシステムクラッシュする問題	3-8
3.2.16	待機状態の論理 LAN Failover セットのデバイスが、ブロードキャストパケットを受信する問題	3-8
3.2.17	システムブート後に特定の論理 LAN デバイスが作成されない問題	3-9
3.2.18	特定の問題がある LDAP サーバーに接続しようとする時、TLS/SSL モードを使っているアプリケーションが無期限にハングする問題	3-9
3.2.19	C++ アプリケーションプログラムにおいて、long double の除算が存在する場合、指定と異なる丸めによる結果が出る問題	3-9
3.2.20	LMF の再起動中に %LICENSE-F-INTERINJ エラーとなる問題	3-10
3.2.21	SHOW SHADOW コマンドが間違えた HBMM ステータスを表示する問題	3-10
3.2.22	SET SHADOW/POLICY コマンドのエラーメッセージが表示されない問題	3-11
3.2.23	ミニコピーが DISMOUNT 修飾子と共に MULTIUSE ビットマップに使われる時、シャドウセットのメンバー間にデータの不整合が生じる問題	3-11
3.2.24	NPAGEDYN の大きな値を割り当てる場合の S0/S1 スペースの損失の問題	3-11
3.2.25	プロセスコントロール領域が破損する問題	3-12
3.2.26	アラインメントフォールト処理の性能低下の改善	3-12
3.2.27	RAD.COM による不正確な RAD メモリ配置の表示の問題	3-13
3.2.28	プロセス終了時の間欠的な DELCONPFN bugcheck の問題	3-13
3.2.29	FILCNTNONZ 問題解析のための診断情報の追加	3-14
3.2.30	デバイスにスプールされた LTA ポートを削除するときに誤ったデバイス名が表示される問題	3-14
3.2.31	"SDA> CLUE FRU" コマンドは、アクティブな CPU の数を誤る問題	3-15
3.2.32	SYSSUTC_SERVICES モジュールでのアラインメントフォールトの問題	3-15
3.2.33	"ERRFMT - I bring you bad news..." を送信した後に ERRFMT プロセスが停止する問題	3-15
3.2.34	DELETE/TREE は、ディレクトリの削除に失敗する問題	3-16
3.2.35	VMSINSTAL.COM が VMSINSTAL\$STATS プロセスを LEF 状態のまま残す問題	3-16
3.2.36	マルチスレッドの JDBC プロセスは V7.3 RDB\$COSIP イメージを使う場合に、Oracle Rdb (tm) と接続しようとして、ハングする問題	3-16
3.2.37	プロセスをハングさせる可能性のあるタイミングウィンドウの修正	3-17

3.2.38	SECURITY_RIGHTS パケットのメモリーリークの修正.....	3-17
3.2.39	OpenVMS バージョン V8.4 で、システムのシャットダウン中または起動中にまれにクラスタハングする問題.....	3-17
3.2.40	Infoserver からのブート/インストールのプロセスがハングする問題...	3-18
3.2.41	内部モードの特殊なカーネル AST を待っているプロセスがハングする問題.....	3-18
3.2.42	OpenVMS V8.4 が EXESINFORM_TM_AST_C+00730 で INCON_SCHED クラッシュする問題.....	3-19
3.2.43	Integrity 上のゲスト OS として実行されている OpenVMS は、ブートに失敗する問題.....	3-20
3.2.44	受信 LCKMGR メッセージの処理を PE ドライバー fastpath CPU 以外の CPU で処理する選択肢の提供.....	3-20
3.2.45	TDF は完全なタイムゾーンルールを読み取れず、タイムゾーン設定に失敗する問題.....	3-21

#### 4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

##### A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

###### 表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧.....	1-3
-----	---------------------------	-----



## 本書の目的

本書では、VMS84I\_UPDATE-V1100 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

## 対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

## 関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0600 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0800 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0900 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V1000 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 x という表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Return</span>	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 文中のオプションの引数が省略されている。</li><li>• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li><li>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li></ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
( )	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[   ]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば /PRODUCER= <i>name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。



表記法	意味
Monospace type	<p>モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。</p> <p>C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。</p>
-	<p>コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。</p>
数字	<p>特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。</p>



---

## キットの概要

---

### 1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	326648 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	無
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V1000
依存する必須キット:	VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI アップデートキット)
オプションの依存キット:	無し

#### チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V1100.ZIPEXE Checksum: 2025433567
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1100--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 1189597837
VMS84I_UPDATE-V1100.ZIPEXE MD5 Checksum:
82FFB4EE397911975FF07CF43B74E53C
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1100--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
16E073F9FCA2BAAB93B157CFA9D90456
```

---

### 1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I\_UPDATE-V1100

---

### 1.3 キットの説明

#### 1.3.1 インストレーションの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストレーション・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情

## キットの概要

### 1.3 キットの説明

報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

#### 1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

#### 1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- OpenVMS for Integrity Servers V8.4

#### 1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新機能および新しいハードウェアはありません。

---

## 1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I\_UPDATE-V1000

---

## 1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット(あるいはそれ以降にリリースされた修正キット)をインストールしておく必要があります。

- VMS84I\_PCSI-V0400

## 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I\_UPDATE-V1100 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I\_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されいる場合、そのキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_ACRTL-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_BACKUP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_DCL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_DDTM-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0300	
VMS84I_ENCRYPT-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_F11X-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0800	
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_IVMSLOA-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_JOBCTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_LAN-V0400	
VMS84I_LDAP-V0200	
VMS84I_LIBOTS-V0100	
VMS84I_LMF-V0100	
VMS84I_LOADSS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MANAGE-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_MIME-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MOUNT96-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MUP-V0500	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RAMDISK-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RMS-V0500	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_SECSRV-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)

(次ページに続く)

## キットの概要

### 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

表 1-1 (続き) 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されている場合、そのキット名
VMS84I_SHADOWING-V0300	
VMS84I_SORT32-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_SYS-V0500	
VMS84I_SYS-V0600	
VMS84I_SYSLOA-V0200	
VMS84I_TDF-V0100	
VMS84I_UAF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_USB-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_XFC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)

---

## インストールに関する注意事項

---

### 2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

---

### 2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V1100.ZIPEXE
```

---

### 2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用し行ってください。

```
$ PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE[/SOURCE=キットの場所]
```

## インストールに関する注意事項

### 2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE\_RECOVERY\_DATAオプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にした場合は、PRODUCT INSTALLコマンドで/NOSAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を使用します。/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE修飾子には、このキットが含まれているCDあるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALLと入力することにより参照できます。

---

## 2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が必要ないいくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだDCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リブートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- \*.\*\_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALLコマンドで/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、\*.\*\_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALLコマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャに追加してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V11.0 [/SOURCE=キットの場所]
```

- 割り当てられた論理名を再定義します。



VMS84I\_UPDATE-V1100 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
$!
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V11.0
$!
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT
$!
$ exit
$!
```

---

## 2.5 VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I\_UPDATE-V1100 アップデートキットには VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。



---

## VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題

この章では、VMS84I\_UPDATE-V1100 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I\_UPDATE-V1100 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I\_UPDATE-V1100 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットで提供されたパッチキットによる修正については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。

過去のアップデートキットのリリースノートについては、第4章を参照してください。

---

### 3.1 新機能

VMS84I\_UPDATE-V1100 アップデートキットで提供する新機能はありません。

---

### 3.2 解決される問題

VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットにより解決される問題を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該問題を解決するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

#### 3.2.1 LAVC\$FAILURE\_ANALYSIS が、問題のあったネットワークコンポーネントの動作再開時に、OPCOM "%LAVC-S-WORKING.."を表示しない問題

キット名：VMS84I\_DRIVER-V0300

問題の説明：

OpenVMS クラスタのネットワークコンポーネントの障害が発生すると、障害解析プログラムは疑いのあるコンポーネントのリストを "%LAVC-W-PSUSPECT" または "%LAVC-I-ASUSPECT" として表示します。そして疑いのあるコンポーネントが、再び作動すると、OPCOM "%LAVC-S-WORKING" を表示します。しかし、この OPCOM が表示されませんでした。

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001241765

3.2.2 特定のインタフェースで、LAVC プロシージャークラスタ通信を開始する時に、バグチェック "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でシステムがクラッシュする問題

キット名 : VMS84I\_DRIVER-V0300

問題の説明 :

LAVC コマンドが使われて、LAN インタフェースでクラスタ通信が開始される時に、以下のログのようにシステムがクラッシュすることがあります。

```
Bugcheck Type: INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL
CPU Type:      HP BL860c i2 (1.60GHz/5.0MB)
VMS Version:   V8.4
Current Image: DSA21:[SYS0.SYSCOMMON.] [SYSHLP.EXAMPLES]LAVC$START_BUS.EXE;1
Failing PC:    FFFFFFFF.81315430 INIT.DOES_BUS_EXIST_C+002B0
```

LAVC コマンドの処理の一部として、クラスタ通信ドライバーは LAN と IP インタフェースの両方をスキャンして、すでに初期化されているかチェックします。Cluster over IP(IPCI) が使用可能でない場合、IPCI 関連のセルは NULL に初期化されます。それゆえ、コマンド処理の一部としてドライバーが、IP インタフェースキューをスキャンしようとする時、システムはクラッシュしました。

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001276513

3.2.3 IPL8 フォークキューの破壊のため、バグチェック "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でシステムがクラッシュする問題

キット名 : VMS84I\_DRIVER-V0300

問題の説明：

IPL8 フォークキューの破壊のため、システムクラッシュします。タイミングにより PEdriver が LAN 転送に同じ "hello メッセージ" パケットを再度キューに入れる事がありました。この操作のため IPL8 フォークキューを破壊していました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001322832

### 3.2.4 SCS/IOLOCK8 スピンロック競合の問題

キット名： VMS84I\_DRIVER-V0300

問題の説明：

このキットは、SCS/IOLOCK8 スピンロック競合の問題を防ぐための変更が含まれます。これは、クラスター通信パケットの処理中にスピンロックの取得とリリースが頻繁に発生することを避けるための変更です。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001327997

### 3.2.5 AVIO ストレージドライバーでのアラインメントフォールトの問題

キット名： VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

HPVM ゲスト時に AVIO ストレージドライバーでカーネルモードのアラインメントフォールトが発生していました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$GSPDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$GSPDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001277678

### 3.2.6 2TB を超えるディスクで、ディスク初期化が失敗する問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

ディスクサイズ 2TB 以上のディスクで、"medium is offline"または "bad parameter value"のエラーで初期化が失敗します。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001339201

### 3.2.7 テープデバイスを構成するときに、INVEXCEPTN バグチェックで OpenVMS システムクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

ドライバーがテープ・ドライブ・コンフィギュレーションの間に初期設定されなかったデータにアクセスしていた時に、OpenVMS システムは PGQDRIVER における INVEXCEPTN バグチェックでクラッシュします。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001339414, 75-126-393

### 3.2.8 PKMDRIVER によって引き起こされる ノンページプール破損のため OpenVMS システムは INVEXCEPTN バグチェックでクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

SC11Xe SCSI コントローラーを介して接続されたテープデバイスで、大きな BLOCK\_SIZE を使って BACKUP 操作を行っている時、PKMDRIVER による ノンページプール破損のため rx2800 i2 システムは INVEXCEPTN バグチェックでクラッシュします。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001370714

回避策：

この問題は、修正された SYSSPKMDRIVER イメージがインストールされるまでは、バックアップコマンドの/BLOCK\_SIZE 修飾子で 8,192 バイト以下に制限することで回避することができます。

### 3.2.9 デバイスのプライマリ・パスが MSCP に設定されていると、SDA 拡張コマンド FC PERFORMANCE は、データの表示に失敗する問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

デバイスに対する MSCP パスの機能には制限事項があり、パフォーマンスデータの収集はサポートしていません。現在、パフォーマンスデータの収集には、デバイスのプライマリパスが使われます。そのため、MSCP パスがデバイスのプライマリパスだと、FC PERFORMANCE はパフォーマンスデータの表示に失敗します。この問題は、パフォーマンスデータの表示のため、デバイスのカレントパスを変更することで修正されます。デバイスのカレントパスが MSCP であり、パフォーマンスデータ収集が必要なならば、SDA>FC PERFORMANCE を利用する前にカレントパスを使用可能な物理パスに設定する必要があります。

関係するイメージ：

- ・ [SYSLIB]FCSSDA.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001377677, 75-126-422

### 3.2.10 LTT ソフトウェアは、QLOGIC ISP2532 (8G FC) カードを介して接続されているデバイスをスキャンし検出することができない問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

LTT ソフトウェアは、QLOGIC ISP2532 PCIe Fibre HBA を介して接続されているデバイスをスキャンし検出することができません。OpenVMS SNIA HBA API サポートがこのカードで利用出来ません。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSSLDR]SYSSPGQDRIVER.EXE
- ・ [SYSSLDR]SYSSPGQDRIVER.STB
- ・ [SYSLIB]HBA\_VMS.EXE
- ・ [SYSLIB]HBAAPITEST.EXE

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001386644

3.2.11 LSI 1030 SCSI アダプターを介して接続された MSA30 エンクロージャ内の  
ディスクから OpenVMS をブートするとハングする問題

キット名： VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800

問題の説明：

OpenVMS は、 rx3600/rx2660/rx6600 サーバー内で LSI 1030 SCSI アダプターに  
接続されている MSA30 ストレージエンクロージャー内のディスクから起動できませ  
ん。システムはブート中に以下のエラーによってハングします：

```
PKM - Target Reset not supported in this Port Type 1  
PKM - Target Reset not supported in this Port Type 1
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$PKMBTDRIIVER.EXE
- ・ [SYSEXEC]IPB.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001193068

3.2.12 論理 LAN デバイスでジャンボフレームを有効にすると、バッファサイズ  
が不正な値となる問題

キット名： VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

EW57711 10G をフェイルオーバーデバイスとして含む論理 LAN デバイスでジャン  
ボフレームを有効にする場合、 LAN ユーザーに対して不正なバッファのサイズが  
反映されます。反映されたバッファのサイズは 7.5 KB ではなく 1.5 KB です。結果  
として LAN アプリケーションは、ジャンボサイズのバッファを使用できません。

EW57711 デバイスのジャンボフレームサイズ制限に関する以下のカスタマーアドバ  
イザリを参照してください。

[http://h41302.www4.hp.com/km/saw/view.do?docId=emr\\_na-c03499018](http://h41302.www4.hp.com/km/saw/view.do?docId=emr_na-c03499018)

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$ER57711\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB



この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001225887, QXCM1001240914, 75-126-270

### 3.2.13 OpenVMS 8.4 LAT 制御プログラム (LATCP) がハングする問題

キット名：VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

ブート時に、リンクステータスが DOWN である物理ポート上での LAT リンクの作成は永久にハングし、LATCP コマンドを応答を待ち続けます。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$LAN.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$LAN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001227049

回避策：

LAN\_FLAGS ビット 14 を使ってください。

```
SYSGEN> SET LAN_FLAGS 16384  
SYSGEN> W C  
SYSGEN> W A
```

注: このパッチを適用すると、この回避策は必要ありません。

### 3.2.14 相互接続モジュールがない場合に、NC364 モジュールでリンクのフラップが発生する問題

キット名：VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

NC364 クアッドポートモジュールで、1つのポートだけが物理的に接続され、他のポートが接続していない時に、ランダムなポートにリンクフラップが発生します。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001272578, QXCM1001265662, 75-126-359

### 3.2.15 UCB リストの処理中に "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でシステムクラッシュする問題

キット名： VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

802.2 パケットを受信して UCB にマッピングする間に、UCB リストが壊れます。同期の問題が原因でした。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN\_CSMACD.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN.EXE
- [SYSS\$LDR]NET\$CSMACD.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN.STB
- [SYSS\$LDR]NET\$CSMACD.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001289986, QXCM1001268175, 75-126-307

### 3.2.16 待機状態の論理 LAN Failover セットのデバイスが、ブロードキャストパケットを受信する問題

キット名： VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

論理 LAN フェイルオーバーセットにおいて、プライマリ物理デバイスからスタンバイモードに切り換える時に、同報メッセージ (すなわち MAC アドレス FF-FF-FF-FF-FF-FF に送られたメッセージ) を受け取り続けます。ネットワーク問題によるリンクダウン、またはユーザーがデバイスリセットコマンド MC LANCP を使って、強制的に変更する時、デバイスはこの切り替えを行います。これらの両方のケースにおいて、初期設定ルーチンはデバイスの受信モードを誤ってノーマルモードに設定し、それがブロードキャストパケットを受け取り続けることを可能にします。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001351981, 75-126-405

回避策：

システムをリブートします。

### 3.2.17 システムブート後に特定の論理 LAN デバイスが作成されない問題

キット名：VMS84I\_LAN-V0400

問題の説明：

システムブートの間に使われた LAN プリミティブデータベースは、ブートディスクの SYSEXE パスに存在すると想定されています。アップデートする間のプリミティブデータベースへのアクセスは SYS\$SYSROOT 論理名に依存します。従って、SYS\$SYSROOT 論理名が、複数のデバイスを指すように定義され、その最初の項目が現在ブートしているデバイス以外のデバイスを指している環境において、新しく作成された論理 LAN デバイスはブート後に利用できないことがあります。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSEXE]LANCP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001326476

回避策：

運転システムの上の SYS\$SYSTEM ディレクトリから SYS\$SPECIFIC:[SYSEXE](正しいブートデバイス) に LAN\$DEVICE\_DATABASE.SEQ ファイルをコピーすることにより、ブート中に参照されるプリミティブデータベースファイルが適切な内容である事を保証できます。

### 3.2.18 特定の問題がある LDAP サーバーに接続しようとする時、TLS/SSL モードを使っているアプリケーションが無期限にハングする問題

キット名：VMS84I\_LDAP-V0200

問題の説明：

特定のまれな状況下で、LDAP サーバーが応答しなくなった時に、LDAP\$SHR を使っているアプリケーションは無期限にハングします。これは、接続の確立に TLS/SSL モードを使用している場合にのみ発生します。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

75-126-423

### 3.2.19 C++ アプリケーションプログラムにおいて、long double の除算が存在する場合、指定と異なる丸めによる結果が出る問題

キット名：VMS84I\_LIBOTS-V0100

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

浮動小数点ステータスレジスター (fpsr) 中の丸めについてのコントロールビットは、long double 除算のために呼ばれた LIBOTS ルーチンの中で変更されます。そのため、丸めのモードは Nearest(デフォルト) から Truncated に変更されます。long double 除算ルーチンから戻った後も、この変更が fpsr に保持されていました。この問題はルーチンの出口において、fpsr の状態を訂正する事で修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]LIBOTS.EXE
- [SYSLIB]LIBOTS.OLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001334450

### 3.2.20 LMF の再起動中に%LICENSE-F-INTERINJ エラーとなる問題

キット名：VMS84I\_LMF-V0100

問題の説明：

再起動において、すべてのライセンスがアンロードされない事があり、以下のエラーが起こることがありました：

```
%LICENSE-F-INTERINJ, internal LMF error was encountered. Checkpoint 16419  
-SYSTEM-F-SUBLOCKS, cannot dequeue a lock with sublocks
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE
- [SYSEXE]LMF.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001235585, QXCM1000925790

### 3.2.21 SHOW SHADOW コマンドが間違った HBMM ステータスを表示する問題

キット名：VMS84I\_SHADOWING-V0300

問題の説明：

MULTIUSE と DISMOUNT オプションが、HBMM ポリシーの作成に使われる時、SHOW SHADOW コマンドは、シャドウセットがマウントされる他のノードで HBMM ステータスを無効と表示します。

関係するイメージ：

- [SYSSLDR]SYSSSHDRIVER.EXE
- [SYSSLDR]SYSSSHDRIVER.STB
- [SYSEXE]SETSHOSHADOW.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001359398, QXCM1001371899

### 3.2.22 SET SHADOW/POLICY コマンドのエラーメッセージが表示されない問題

キット名：VMS84I\_SHADOWING-V0300

問題の説明：

SET SHADOW/POLICY コマンドは MULTIUSE と DISMOUNT オプションの変更を許しません。変更しようとする、エラーメッセージを表示するようになりました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]SETSHOSHADOW.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001385253

### 3.2.23 ミニコピーが DISMOUNT 修飾子と共に MULTIUSE ビットマップに使われる時、シャドウセットのメンバー間にデータの不整合が生じる問題

キット名：VMS84I\_SHADOWING-V0300

問題の説明：

MULTIUSE ビットマップを利用する OpenVMS 8.4 において、ミニコピーがシャドウセットから取り除かれたメンバーを再度追加する時に、シャドウセットメンバーの間に不整合が生じる事があります。いくつかのシナリオで、ビットマップをクリアするとき、ローカルのビットマップはゼロにされませんでした。その結果、問題が生じていました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.EXE
- ・ [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001395009

### 3.2.24 NPAGEDYN の大きな値を割り当てる場合の S0/S1 スペースの損失の問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明：

NPAGEDYN が非常に大きな値に設定された時、自然にアラインされた粒度ヒント境界に大きなメモリーを割り当てようとするため、システムが利用可能なメモリー空間を利用せず、S0/S1 空間に大きなメモリーの空き領域を生じさせる事があります。

ある顧客システムで、NPAGEDYN を 255MB から 256MB に増大したところ、S0/S1 スペースに 134MB の損失がありました。

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

この問題は修正されました。その修正を利用するためには、SYSGEN パラメータ MMG\_CTLFLAGS のビット 8 を設定する必要があります。デフォルト条件では、ビット 8 を設定するために値を 259 に設定することができ、その場合その他の設定は変更されません。

関係するイメージ :

- [SYSSLDR]SYSS\$BASE\_IMAGE.EXE
- [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE
- [SYSEXEC]SYSGEN.EXE
- [SYSEXEC]SYSBOOT.EXE
- [SYSEXEC]SYSMAN.EXE
- [SYSEXEC]SMISERVER.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース :  
QXCM1001296093

### 3.2.25 プロセスコントロール領域が破損する問題

キット名 : VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明 :

システムはプロセス制御領域 (CTL\$GQ\_ALLOCREG) の破損のため、または複数のカーネルスレッドを持っていた (いる) プロセスの RDE 領域 (CTL\$A\_REGION\_TABLE) の破損のため、クラッシュまたはハングします。破損のポイントは多くの場合、割り当てが解除された RDE(リージョンデスクリプタエントリ) です。

この問題を避けるために RDE の割り当てと割当て解除のルーチンに同期処理が追加されました。

関係するイメージ :

- [SYSSLDR]SYSS\$VM.EXE
- [SYSSLDR]SYSS\$VM.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース :  
QXCM1001296054, QXCM1001311525, QXCM1001334102, 75-126-384

### 3.2.26 アラインメントフォールト処理の性能低下の改善

キット名 : VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明 :

アラインメントフォールトシステムにアラインメントフォールトが多く発生すると、プロセスの減速、MMG spinlock の過度の利用、長い MP 同期時間が生じます。

アラインメントフォールトハンドラは spinlock の使用を減らすように変更され、アラインメントフォールトの多い環境において競合を減らし、性能を改善しています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
75-74-335

### 3.2.27 RAD.COM による不正確な RAD メモリー配置の表示の問題

キット名 : VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明 :

特定の RAD メモリーコンフィギュレーションで、RAD.COM は、複数の RAD に属しているメモリーが特定の 1 つの RAD に追加されて、他の RAD にはメモリーがないような、不正確なメモリー配置を示すことができました。この問題は修正されました。

関係するイメージ :

- [SYSEXEC]SYSBOOT.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001325538

### 3.2.28 プロセス終了時の間欠的な DELCONPFN bugcheck の問題

キット名 : VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明 :

一部のお客様は MMG\$DEL\_CONTENTS\_PFN\_C において間欠的な DELCONPFN バグチェックを経験されるかもしれません。根本原因はまだ調査中ですが、回避策は作られており、それは SYSGEN パラメータ MMG\_CTLFLAGS のビット 9 を設定することで有効になります。このビットは OpenVMS エンジニアリングによって勧められない限り利用しないでください。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIB.L32
- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ
- [SYSLIB]SYS\$LIB\_C.TLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001318159

### 3.2.29 FILCNTNONZ 問題解析のための診断情報の追加

キット名：VMS84I\_SYS-V0500

問題の説明：

いくつかの OpenVMS I64 ノードはプロセス終了時に間欠的な FILCNTNONZ バグチェックを経験しました。この特定の FILCNTNONZ バグチェックを、プロセスを凍結することによって防止するような回避策が、VMS84I\_SYS-V0300 と VMS84I\_UPDATE-V0900 で導入されました。このアップデートは、問題のトラブルシューティング時に OpenVMS エンジニアリングを補助するために、補足的な診断情報を収集します。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SWISS\$DEBUG.EXE
- [SYSS\$LDR]SWISS\$DEBUG.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]SWISS\$SDA.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001340612

### 3.2.30 デバイスにスプールされた LTA ポートを削除するときに誤ったデバイス名が表示される問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

機器にスプールされる LTA ポートが削除される時、LTA ポートではなく、スプールデバイスが削除されるという誤った情報が表示されます。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]LAT\$SHR.EXE



この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001213554, 75-126-264

### 3.2.31 "SDA> CLUE FRU"コマンドは、アクティブな CPU の数を誤る問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

ELV トランスレータが「SDA> CLUE FRU」コマンドで生成された CLUES\$FRU.SYS ファイルを解釈する時、「Number of CPUs in Active Set」フィールドの値は 0 と表示されます。

関係するイメージ：

・ [SYSLIB]CLUES\$SDA.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
75-130-65

### 3.2.32 SYS\$UTC\_SERVICES モジュールでのアラインメントフォールトの問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

DECnet 通信中に SYS\$UTC\_SERVICES モジュールでアラインメントフォールトが発生していました。

関係するイメージ：

・ [SYS\$LDR]SYS\$UTC\_SERVICES.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001315603

### 3.2.33 "ERRFMT - I bring you bad news..."を送信した後に ERRFMT プロセスが停止する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

OpenVMS をインストール後に ERRFMT プロセスは、件名 "ERRFMT - I bring you bad news..." の E メールを送った後に停止する事がありました。DVD ブート等のいくつかのシステムで発生しました。

コード中の不正確な引数の受け渡しにより、無関係なプロセスページでの値の参照など誤った動作があり、そのため、ERRFMT メールや ERRFMT プロセスのクラッシュが発生していました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSEX]ERRFMT.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
75-120-1327

### 3.2.34 DELETE/TREE は、ディレクトリの削除に失敗する問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

ACL により削除権限を持っている場合でも、DELETE/TREE がディレクトリの削除に失敗する事があります。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSEXE]DELETE.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001327303, 75-116-563, 75-126-398

### 3.2.35 VMSINSTAL.COM が VMSINSTAL\$STATS プロセスを LEF 状態のまま残す問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

VMSINSTAL.COM で製品インストール中に CTRL/Y を押すと、製品インストールは予期しないエラーで終了し、VMSINSTAL\$STATS プロセスを LEF 状態で残します。これによりその後の製品インストールが妨げられます。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSUPD]VMSINSTAL.COM

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001338594

### 3.2.36 マルチスレッドの JDBC プロセスは V7.3 RDB\$COSIP イメージを使う場合に、Oracle Rdb (tm) と接続しようとして、ハングする問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

マルチスレッドの JDBC プロセスは V7.3 RDB\$COSIP イメージを使って Oracle Rdb(tm) と接続しようとした場合にハングします。V7.3 RDB\$COSIP は認証のために SYSS\$ACMW を用いており、ACME\_SERVER プロセスは呼びだし元を待って無限ループにおちいることがありました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

・ [SYSS\$LDR]ACME.EXE

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001328821, 75-126-417

### 3.2.37 プロセスをハングさせる可能性のあるタイミングウィンドウの修正

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

まれな状況で、プロセスは一時的にメモリーの1ページをロックしようとして (ATOMIC\_WRITE\_KEEP\_IN\_WS マクロを使用)、AST ルーチンでループする事があります。このAST が、同じメカニズムを使っている他のコードを中断したならば、このマクロの中でループにおちいることがあります。

関係するイメージ：

- ・ [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- ・ [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001395741

### 3.2.38 SECURITY\_RIGHTS パケットのメモリーリークの修正

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

SECURITY\_RIGHTS パケットのリークによるノンページブールの枯渇によりシステムは CLUEXIT でクラッシュしました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSS\$LDR]SECURITY.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]SECURITY.STB
- ・ [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.STB

この問題を報告している QulX と PTR ケース：  
QXCM1001352295, QXCM1001379259

### 3.2.39 OpenVMS バージョン V8.4 で、システムのシャットダウン中または起動中にまれにクラスターハングする問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

ホストベースのミニマージ (HBMM) をシステムディスクシャドウセットに使い、それを複数のシステムで共有した場合、OpenVMS V8.4 はシステムシャットダウン中またはブート中にクラスタハングする事があります。これはビットマップアップデート操作時に、書き込みビットマップメッセージが失われ、デバイスが書き込みロック状態におかれた場合に起こります。

OpenVMS V8.3-1H1 およびそれ以前のバージョンでは、マスタビットマップのアップデートメッセージは、1 つずつ送られ、各リモートのマスタビットマップを逐次アップデートしました。

OpenVMS V8.4 で、これらリモートマスタビットマップのアップデートは並列実行に変更されていましたが、逐次実行するようなコードに戻されました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- ・ [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001274678, QXCM1001297622, QXCM1001307342, QXCM1001342943

### 3.2.40 Infoserer からのブート/インストールのプロセスがハングする問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

Infoserer ブート/インストールのプロセスはサービスが利用可能にもかかわらず、"specified service unavailable error"によってハングすることがあります。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

75-72-69

### 3.2.41 内部モードの特殊なカーネル AST を待っているプロセスがハングする問題

キット名： VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

ある小さなタイミングウィンドウにより、内部モードの特殊なカーネル AST 待ちになったままで処理されないということがありました。この結果、そのプロセスがロックしているものに応じて、プロセスハング、システムハングまたはクラスタハングが発生しました。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001387681, 75-13-2368

回避策：

定期的に別のカーネルモード AST をプロセスに提供することで解放できます。例えば、以下のように SDA でプロセスのチャンネルリストを表示します：

```
$ ANAL/SYSTEM  
SDA> SHOW PROCESS/CHANNEL ALL  
SDA> EXIT
```

### 3.2.42 OpenVMS V8.4 が EXE\$INFORM\_TM\_AST\_C+00730 で INCON\_SCHED クラッシュする問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

まれな条件で、マルチスレッドプロセスの内部モードセマフォ ownership depth が AST の実行中に同期できなくなることがあり、その結果、EXE\$INFORM\_TM\_AST\_C+00730 で INCON\_SCHED バグチェックが発生します。この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001397583, QXCM1001344424, 75-126-434

### 3.2.43 Integrity 上のゲスト OS として実行されている OpenVMS は、ブートに失敗する問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0600

問題の説明：

次の例のように、ゲスト OS の OpenVMS はイメージロードエラーでブートに失敗しました。

```
%VMS_LOADER-W-Warning: Unable to load file SYS$LOADABLE_IMAGES:SYS$NETWORK_SERVICES
.EXE in CreateMemorydisk. Status = 0x124
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$MEMORYDISK.DAT

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

PTR 75-130-40

### 3.2.44 受信 LCKMGR メッセージの処理を PE ドライバー fastpath CPU 以外の CPU で処理する選択肢の提供

キット名：VMS84I\_SYSLOA-V0200

問題の説明：

このキットには、受信 LCKMGR メッセージを PE ドライバー fastpath CPU 以外の CPU で処理するための変更が含まれます。高負荷のシステムでリモートとローカルのロック処理が多い場合、ローカルロック要求処理専用ロックマネージャーと受信 SCS Lock メッセージ処理用 PE ドライバー fastpath CPU の間で LCKMGR スピンロックの競合が発生します。今回、受信 SCS ロックメッセージの処理が PE ドライバー fastpath CPU 以外の CPU で可能になりました。この CPU は、SYSGEN パラメータ RSVD\_CLU\_1 で指定できます。指定する CPU は、プライマリ CPU 以外のアクティブ CPU のどれかです。fastpath 設定とシステムの負荷に基づいて、CPU を選択してください。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001328327

### 3.2.45 TDF は完全なタイムゾーンルールを読み取れず、タイムゾーン設定に失敗する問題

キット名：VMS84I\_TDF-V0100

問題の説明：

SYSSMANAGER:UTC\$TIME\_SETUP.COM でタイムゾーンの設定や変更を行うと、以下のようなエラーが表示されました。

"Error creating rule symbol - SYS\$READ\_TIME\_ZONE\_RULE.EXE may have failed!"

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]SYS\$DAYLIGHT\_SAVING.EXE
- [SYSEXE]SYS\$READ\_TIME\_ZONE\_RULE.EXE
- [SYSEXE]TDF\$SET\_TIMEZONE.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

None





---

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I\_UPDATE-V1100 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、今回新たに含まれるパッチキットに関する情報を提供していますが、以前のアップデートキットにも含まれているパッチキットに関する情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_BACKUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DCL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DDTM-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DEBUG-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FORRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_JOBCTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LDAP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LIBOTS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LMF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOADSS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MANAGE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MIME-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MSCP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RAMDISK-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SECSRV-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SORT32-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_TDF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UAF-V0100.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0900.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V1000.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_USB-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_XFC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_XFC-V0200.RELEASE\_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次に説明するコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V11.0 -  
_ $ [/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V11.0 -  
_ $ /SELECT=release_note_name[/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE\_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
$ PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V11.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I\_UPDATE-V0600 ~ VMS84I\_UPDATE-V1000 の日本語リリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>



---

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージファイルには、イメージ識別情報を付けています。

- [SYSEXEXE]ACC.EXE

イメージ名:	"ACC"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:23.55	チェックサム:	28484EA0

- [SYSS\$LDR]ACME.EXE

イメージ名:	"ACME"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:44.13	チェックサム:	C3398391

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN\_LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:34.16	チェックサム:	FE609706

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN\_SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.43	チェックサム:	42BF2AD2

- [SYSEXEXE]ACME\_SERVER.EXE

イメージ名:	"ACME_SERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.58	チェックサム:	65AB664B

- [SYSEXEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

イメージ名:	"AGENS\$FEEDBACK"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:46.56	チェックサム:	3371A610

- [SYSEXEXE]AUDIT\_SERVER.EXE

イメージ名:	"AUDIT_SERVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:17.11	チェックサム:	F21A75BC

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSEXEC]AUTHORIZE.EXE

イメージ名:	"AUTHORIZE"	ビルド ID:	"0100000088"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-OCT-2012 11:29:04.25	チェックサム:	F0AE134D

• [SYSEXEC]BACKUP.EXE

イメージ名:	"BACKUP"	ビルド ID:	"0100000088"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-OCT-2012 11:28:36.32	チェックサム:	8B354E95

• [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

イメージ名:	"BACKUPSHR"	ビルド ID:	"0100000088"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-OCT-2012 11:27:48.68	チェックサム:	E8F78065

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COMPARE"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:59.35	チェックサム:	1CCCCAC3

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COPY"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:39.02	チェックサム:	7C0C5E6

• [SYSEXEC]CDDVD\$CP.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$CP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:10:22.25	チェックサム:	D101AA6C

• [SYSMMSG]CDDVD\$MSG.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$MSG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 17:24:33.20	チェックサム:	33F0FBC8

• [SYSEXEC]CDU.EXE

イメージ名:	"CDU"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"I01-11"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:17.42	チェックサム:	397B73B2

• [SYSMMSG]CLIUTLMSG.EXE

イメージ名:	"CLIUTLMSG"	ビルド ID:	"0100000068"
--------	-------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-MAR-2012 10:35:25.65	チェックサム:	7B9DF1AC
• [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE			
イメージ名:	"CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000105"
ファイル ID:	"X-71"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-APR-2013 11:44:16.65	チェックサム:	FE673015
• [SYS\$LDR]CNX\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"CNX\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:47.78	チェックサム:	7323B449
• [SYSEXE]CONVERT.EXE			
イメージ名:	"CONVERT"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:35.15	チェックサム:	29501629
• [SYSLIB]CONVSHR.EXE			
イメージ名:	"CONVSHR"	ビルド ID:	"0100000125"
ファイル ID:	"X1-012"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-JAN-2014 12:34:24.82	チェックサム:	72C55201
• [SYSEXE]COPY.EXE			
イメージ名:	"COPY"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.31	チェックサム:	46E9F9D
• [SYSLIB]DBG\$HA_KERNEL.EXE			
イメージ名:	"DBG\$HA_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:31.81	チェックサム:	F15DFC01
• [SYSLIB]DBG\$HA_MAIN.EXE			
イメージ名:	"DBG\$HA_MAIN"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:27.88	チェックサム:	26E710E6
• [SYSEXE]DBGHK\$HOST_KERNEL.EXE			
イメージ名:	"DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.51	チェックサム:	E58D00ED

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$PRCDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:15.06	チェックサム:	20F2A7EC

- [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$SYSDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:16.92	チェックサム:	B549FCE7

- [SYSMSG]DBGTBKMSG.EXE

イメージ名:	"DBGTBKMSG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.10	チェックサム:	18D626C7

- [SYSLIB]DCE\$LIB\_SHR.EXE

イメージ名:	"DCE\$LIB_SHR"	ビルド ID:	""
ファイル ID:	"DCE V3.2-100509"	リンカー ID:	"Linker I02-17"
リンク日時:	10-MAY-2010 02:54:11.62	チェックサム:	1E7AB502

- [SYSEXE]DCL.EXE

イメージ名:	"DCL"	ビルド ID:	"0100000086"
ファイル ID:	"X-55"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2012 12:39:40.87	チェックサム:	88EC702D

- [SYSLIB]DEBUG.EXE

イメージ名:	"DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:07.10	チェックサム:	243C847E

- [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:39.26	チェックサム:	F52B8527

- [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:01.54	チェックサム:	E8516CBD

- [SYSLIB]DEBUGISHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGISHR"	ビルド ID:	"0100000004"
--------	-------------	---------	--------------



ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.02	チェックサム:	A088619A
• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$BASRTL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V01-037"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:33:18.80	チェックサム:	75945AF4
• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$FORRTL"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"V01-07.004"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-FEB-2012 12:58:49.90	チェックサム:	AFAA15AA
• [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHR"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-FEB-2014 13:26:38.13	チェックサム:	1B6520B5
• [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHRP"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-FEB-2014 13:26:33.24	チェックサム:	F898B815
• [SYSEXEXE]DELETE.EXE			
イメージ名:	"DELETE"	ビルド ID:	"0100000171"
ファイル ID:	"X-05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUL-2015 14:35:01.12	チェックサム:	AF6469D6
• [SYSEXEXE]DIFF.EXE			
イメージ名:	"DIFF"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:40.22	チェックサム:	2D361DA1
• [SYSEXEXE]DIRECTORY.EXE			
イメージ名:	"DIRECTORY"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:40.48	チェックサム:	4AE1F8CB
• [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE			
イメージ名:	"DPML\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"T01-018"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:15:22.89	チェックサム:	B2865D89

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ名:	"EDTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"1-050"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:15:26.98	チェックサム:	28651612

• [SYSEXEXE]EFI\$BCFG.EXE

イメージ名:	"EFI\$BCFG"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:54.84	チェックサム:	6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYPHR.EXE

イメージ名:	"ENCRYPHR"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:30:31.13	チェックサム:	F1A8341D

• [SYSEXEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$AUTH"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:32:18.31	チェックサム:	9F234F4B

• [SYSMMSG]ENCRYPT\$\_MSG.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$_MSG"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:32.41	チェックサム:	A147CE2E

• [SYSEXEXE]ERRFMT.EXE

イメージ名:	"ERRFMT"	ビルド ID:	"0100000128"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-FEB-2014 17:06:12.25	チェックサム:	2E07C213

• [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

イメージ名:	"ERRORLOG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.30	チェックサム:	4696DD8F

• [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION"	ビルド ID:	"0100000117"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:10.26	チェックサム:	73DA03CA

• [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION_MON"	ビルド ID:	"0100000117"
--------	-----------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:14.43	チェックサム:	73DA03CA
• [SYSS\$LDR]EXEC_INIT.EXE			
イメージ名:	"EXEC_INIT"	ビルド ID:	"0100000178"
ファイル ID:	"X-217"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-SEP-2015 10:56:59.38	チェックサム:	7BBF1FC1
• [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE			
イメージ名:	"F11BXQP"	ビルド ID:	"0100000083"
ファイル ID:	"XQP V84R_RE CFI"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-AUG-2012 14:23:12.47	チェックサム:	459E6D83
• [SYSEXE]F11CACP.EXE			
イメージ名:	"F11CACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:16.63	チェックサム:	858832A3
• [SYSEXE]F11DACP.EXE			
イメージ名:	"F11DACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:17.63	チェックサム:	12EC70DC
• [SYSEXE]FAL.EXE			
イメージ名:	"FAL"	ビルド ID:	"0100000119"
ファイル ID:	"X-10"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-OCT-2013 18:28:10.62	チェックサム:	883D24AB
• [SYSLIB]FC\$SDA.EXE			
イメージ名:	"FC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:51.03	チェックサム:	7E8D3293
• [SYSS\$LDR]FLT\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"FLT\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:50.37	チェックサム:	5DD7CEA3
• [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE			
イメージ名:	"FLT\$SDA"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-8A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.09	チェックサム:	63800810

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]HBAAPITEST.EXE

イメージ名:	"HBAAPITEST"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:47.37	チェックサム:	72A8076F

• [SYSLIB]HBA\_VMS.EXE

イメージ名:	"HBA_VMS"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:46.54	チェックサム:	70B70770

• [SYSLIB]I64\_CLUE\$SDA.EXE

イメージ名:	"I64_CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-69"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:54.95	チェックサム:	8972E72D

• [SYSEXEXE]I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"I64_DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:13.42	チェックサム:	D4EC58D6

• [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE

イメージ名:	"ICC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:47.51	チェックサム:	945326A5

• [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.EXE

イメージ名:	"IMAGE_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:12.68	チェックサム:	102AE8D0

• [SYSLIB]IMGDMP.EXE

イメージ名:	"IMGDMP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-72"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:09.05	チェックサム:	C088596

• [SYSEXEXE]INDICTMENT\_SERVER.EXE

イメージ名:	"INDICTMENT_SERVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:16.86	チェックサム:	3DA25BA

• [SYSEXEXE]INSTALL.EXE

イメージ名:	"INSTALL"	ビルド ID:	"0100000002"
--------	-----------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:25.51	チェックサム:	E5727767
• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$AVIO_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:20.35	チェックサム:	983985BC
• [SYSLIB]IOGEN\$CISS_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$CISS_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-10"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:56:32.36	チェックサム:	1A93E0A7
• [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$FIBRE_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-39"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:49:45.45	チェックサム:	DDEB4425
• [SYSLIB]IOGEN\$ISA_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$ISA_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-21"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:07:19.51	チェックサム:	A82BC75
• [SYSLIB]IOGEN\$SCSI_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$SCSI_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:20.56	チェックサム:	58D28E83
• [SYSSLDR]IO_ROUTINES.EXE			
イメージ名:	"IO_ROUTINES"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:58.90	チェックサム:	6E92E186
• [SYSSLDR]IO_ROUTINES_MON.EXE			
イメージ名:	"IO_ROUTINES_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:12.16	チェックサム:	CEAB8D9B
• [SYSEXEC]IPB.EXE			
イメージ名:	"IPB"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:48:33.26	チェックサム:	E4F3C354

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSEXE]IPB\_NOXDELTA.EXE

イメージ名:	"IPB_NOXDELTA"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:42.13	チェックサム:	8E9E08DD

• [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

イメージ名:	"JBC\$JOB_CONTROL"	ビルド ID:	"0100000082"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-AUG-2012 13:49:47.73	チェックサム:	16861EF4

• [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ名:	"LAN\$SDA"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-64"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:48.61	チェックサム:	9EB6A973

• [SYSEXE]LANACP.EXE

イメージ名:	"LANACP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:09.46	チェックサム:	981E18DE

• [SYSEXE]LANCP.EXE

イメージ名:	"LANCP"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:09.27	チェックサム:	28194A1

• [SYSLIB]LAT\$SHR.EXE

イメージ名:	"LAT\$SHR"	ビルド ID:	"0100000129"
ファイル ID:	"LAT\$SHR V2.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-MAR-2014 13:38:58.25	チェックサム:	36446126

• [SYSLIB]LBR\$SHR.EXE

イメージ名:	"LBR\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"I01-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:03:54.62	チェックサム:	FCC80C2A

• [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

イメージ名:	"LCK\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:37.95	チェックサム:	E9B49F54

• [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

イメージ名:	"LDAP\$SHR"	ビルド ID:	"0100000150"
--------	-------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "LDAP V2.0-05000"       | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 29-NOV-2014 13:40:24.08 | チェックサム:  | EFBC208F        |
- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE

イメージ名:	"LDAPACME\$LDAP-STD_ACMESHR"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAP-STD V01.05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:25.94	チェックサム:	1CF58060
  - [SYSEXEXE]LDAP\_LOAD\_LOCALUSER\_DATABASE.EXE

イメージ名:	"LDAP_LOAD_LOCALUSER_DATABASE"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAPACME V01.01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:37.52	チェックサム:	EEB6188B
  - [SYSLIB]LIBOTS.EXE

イメージ名:	"LIBOTS"	ビルド ID:	"0100000156"
ファイル ID:	"V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-FEB-2015 14:36:23.97	チェックサム:	287E6FDE
  - [SYSLIB]LIBRTL.EXE

イメージ名:	"LIBRTL"	ビルド ID:	"0100000100"
ファイル ID:	"X01-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-FEB-2013 13:10:51.88	チェックサム:	992B8504
  - [SYSEXEXE]LMF.EXE

イメージ名:	"LMF"	ビルド ID:	"0100000103"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-MAR-2013 16:19:01.48	チェックサム:	E200B7CD
  - [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"LNM\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:01.15	チェックサム:	5978A650
  - [SYSLIB]LNM\$SDA.EXE

イメージ名:	"LNM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:52.91	チェックサム:	677D3AF6
  - [SYSSLDR]LOCKING.EXE

イメージ名:	"LOCKING"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:38.85	チェックサム:	7606F20E

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.EXE

イメージ名:	"LOGICAL_NAMES"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.05	チェックサム:	45A4DBF

• [SYSEXEXE]LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-54"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:32.77	チェックサム:	78A5B7E

• [SYSEXEXE]MACRO.EXE

イメージ名:	"MACRO"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"50-120-5-50F9M"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:12.29	チェックサム:	85290640

• [SYSEXEXE]MAIL.EXE

イメージ名:	"MAIL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V1.06"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:53.38	チェックサム:	7A9C36D0

• [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE

イメージ名:	"MESSAGE_ROUTINES"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:47:00.72	チェックサム:	2E2247D9

• [SYSEXEXE]MIME.EXE

イメージ名:	"MIME"	ビルド ID:	"0100000074"
ファイル ID:	"V1.93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAY-2012 13:19:40.01	チェックサム:	663A67EE

• [SYSEXEXE]MONITOR.EXE

イメージ名:	"MONITOR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.93	チェックサム:	AD6E966A

• [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE

イメージ名:	"MOUNTSHR"	ビルド ID:	"0100000116"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2013 17:17:37.80	チェックサム:	C5546739

• [SYSEXEXE]MSA\$UTIL.EXE

イメージ名:	"MSA\$UTIL"	ビルド ID:	"0100000090"
--------	-------------	---------	--------------



ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:54.39	チェックサム:	520CDF5
• [SYSS\$LDR]MSCP.EXE			
イメージ名:	"MSCP"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-JAN-2012 16:13:28.11	チェックサム:	6E66B3B1
• [SYSEXE]MTAAACP.EXE			
イメージ名:	"MTAAACP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:58.55	チェックサム:	97B1EE3E
• [SYSS\$LDR]NET\$CSMACD.EXE			
イメージ名:	"CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:03.33	チェックサム:	CC2C9EF8
• [SYSEXE]OPCOM.EXE			
イメージ名:	"OPCOM"	ビルド ID:	"0100000080"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:04:07.81	チェックサム:	F3A17E70
• [SYSLIB]PE\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:40.77	チェックサム:	AF74A4AB
• [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PKM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-JUL-2010 19:03:08.50	チェックサム:	7C814B0B
• [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PKR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:56.14	チェックサム:	E945AF58
• [SYSS\$LDR]PRF\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"PRF\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:14.50	チェックサム:	B95D9D6F

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

イメージ名:	"PRF\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:12:03.64	チェックサム:	5A37FC1

- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:48.63	チェックサム:	385F616A

- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:56.85	チェックサム:	CEF11C9D

- [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$DBGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:48.07	チェックサム:	7F892FAD

- [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$RTL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:47.68	チェックサム:	FCE15062

- [SYSEXEXE]QMAN\$QUEUE\_MANAGER.EXE

イメージ名:	"QMAN\$QUEUE_MANAGER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:09.01	チェックサム:	DDA8CCED

- [SYSEXEXE]QUEMAN.EXE

イメージ名:	"QUEMAN"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:33:18.74	チェックサム:	39279152

- [SYSEXEXE]RECLAIM.EXE

イメージ名:	"RECLAIM"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:36.50	チェックサム:	19AFE135

- [SYSEXEXE]RECOVER.EXE

イメージ名:	"RECOVER"	ビルド ID:	"0100000096"
--------	-----------	---------	--------------

ファイル ID:	"X01-03"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:50.50	チェックサム:	2EF02AAC
• [SYSSLDR]RMS.EXE			
イメージ名:	"RMS"	ビルド ID:	"0100000124"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-DEC-2013 14:20:30.32	チェックサム:	A2AA88D4
• [SYSEXEXE]RMSREC\$SERVER.EXE			
イメージ名:	"RMSREC\$SERVER"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:53.10	チェックサム:	50A4A493
• [SYSEXEXE]SCACP.EXE			
イメージ名:	"SCACP"	ビルド ID:	"0100000080"
ファイル ID:	"X-38"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:03:57.49	チェックサム:	CB492413
• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDA\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.72	チェックサム:	2389685D
• [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDARMS\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.59	チェックサム:	386DE222
• [SYSEXEXE]SEARCH.EXE			
イメージ名:	"SEARCH"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X02-09"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:55.08	チェックサム:	B6C7EED9
• [SYSLIB]SECURESHR.EXE			
イメージ名:	"SECURESHR"	ビルド ID:	"0100000081"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-JUL-2012 12:31:09.37	チェックサム:	647BB1DE
• [SYSLIB]SECURESHRP.EXE			
イメージ名:	"SECURESHRP"	ビルド ID:	"0100000081"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-JUL-2012 12:31:08.05	チェックサム:	AD77852C

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSSLDR]SECURITY.EXE

イメージ名:	"SECURITY"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:07:54.55	チェックサム:	BD5291B5

• [SYSSLDR]SECURITY\_MON.EXE

イメージ名:	"SECURITY_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:18.91	チェックサム:	88775F95

• [SYSEXEXE]SECURITY\_SERVER.EXE

イメージ名:	"SECURITY_SERVER"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	" DEC Ada V3.5"	リンカー ID:	"Linker I02-38"
リンク日時:	5-FEB-2014 18:44:35.82	チェックサム:	3A685627

• [SYSEXEXE]SET.EXE

イメージ名:	"SET"	ビルド ID:	"0100000068"
ファイル ID:	"X02-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-MAR-2012 10:36:35.09	チェックサム:	D9FAA0C1

• [SYSEXEXE]SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-3K2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.78	チェックサム:	215EB1E7

• [SYSEXEXE]SETSHOSERVER.EXE

イメージ名:	"SETSHOSERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:35:25.04	チェックサム:	FCB8703F

• [SYSEXEXE]SETSHOSHADOW.EXE

イメージ名:	"SETSHOSHADOW"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-02"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:33:12.76	チェックサム:	193DDB00

• [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.EXE

イメージ名:	"SHADOW_SERVER"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:32:36.94	チェックサム:	9A25FD67

• [SYSSLDR]SHELL16K.EXE

イメージ名:	"SHELL16K"	ビルド ID:	"0100000001"
--------	------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:10.39	チェックサム:	B1DC91B0
• [SYSS\$LDR]SHELL32K.EXE			
イメージ名:	"SHELL32K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:13.44	チェックサム:	73F34B95
• [SYSS\$LDR]SHELL64K.EXE			
イメージ名:	"SHELL64K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:15.75	チェックサム:	E62635F8
• [SYSS\$LDR]SHELL8K.EXE			
イメージ名:	"SHELL8K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:05.90	チェックサム:	5C0A23FF
• [SYSEXEXE]SHOW.EXE			
イメージ名:	"SHOW"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-8"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:19:28.98	チェックサム:	20FA83BE
• [SYSEXEXE]SHWCLSTR.EXE			
イメージ名:	"SHWCLSTR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.78	チェックサム:	3A7043B9
• [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE			
イメージ名:	"SMBSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:31:21.86	チェックサム:	45E34BD3
• [SYSLIB]SMGSHR.EXE			
イメージ名:	"SMGSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SMG\$ X1.0-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:56:20.10	チェックサム:	2DD21893
• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE			
イメージ名:	"SMI\$OBJSHR"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X40-A9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:39.70	チェックサム:	929DFAF3

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE

イメージ名:	"SMI\$SHR"	ビルド ID:	"0100000121"
ファイル ID:	"X01-04"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-NOV-2013 13:45:32.71	チェックサム:	517CA5CD

• [SYSEXE]SMISERVER.EXE

イメージ名:	"SMISERVER"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X01-15"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:55.06	チェックサム:	B3A64ED

• [SYSEXE]SMPUTIL.EXE

イメージ名:	"SMPUTIL"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-30"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:06.48	チェックサム:	4ECACE4

• [SYSEXE]SORTMERGE.EXE

イメージ名:	"SORTMERGE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V08-014"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:22.07	チェックサム:	25CCC85E

• [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ名:	"SORTSHR"	ビルド ID:	"0100000077"
ファイル ID:	"V08-013"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	18-JUN-2012 13:58:52.15	チェックサム:	2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ名:	"SPL\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:11:24.22	チェックサム:	1E5B7D4B

• [SYS\$LDR]SWIS\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"SWIS\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:31.00	チェックサム:	6B25B3D6

• [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

イメージ名:	"SWIS\$SDA"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-2A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:33.15	チェックサム:	81C15147

• [SYS\$LDR]SYS\$BASE\_IMAGE.EXE

イメージ名:	"SYS\$BASE_IMAGE"	ビルド ID:	"0100000141"
--------	-------------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "IA64 XCFR-J2I"         | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 17-SEP-2014 16:29:41.12 | チェックサム:  | 8358BD5D        |
- [SYSS\$LDR]SYSS\$CLUSTER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$CLUSTER"	ビルド ID:	"0100000137"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2014 13:38:53.44	チェックサム:	426EC51
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$CLUSTER\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$CLUSTER_MON"	ビルド ID:	"0100000137"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2014 13:39:09.02	チェックサム:	68C11B6A
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$CMDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$CMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:55.59	チェックサム:	C96897F
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$CTDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$CTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.31	チェックサム:	53813CDB
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$DADDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DADDRIVER"	ビルド ID:	"0100000169"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-JUN-2015 15:38:37.57	チェックサム:	72EF0DAC
  - [SYSEXE]SYSS\$DAYLIGHT\_SAVING.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DAYLIGHT_SAVING"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:37.11	チェックサム:	3E86631B
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$DKBTDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DKBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:41.29	チェックサム:	7344110D
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$DKDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DKDRIVER"	ビルド ID:	"0100000162"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-MAR-2015 13:03:45.86	チェックサム:	EDDE8A5A





- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-5"                   | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 15-SEP-2010 15:50:51.03 | チェックサム:  | B66A8957        |
- [SYSS\$LDR]SYSS\$ER57711.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:12.99	チェックサム:	7C4D33EC
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$ER57711\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:19.34	チェックサム:	7F83B8E3
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EW5700.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER"	ビルド ID:	"0100000076"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUN-2012 18:06:35.75	チェックサム:	6DF5C2C1
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EW5700\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000076"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUN-2012 18:06:36.25	チェックサム:	215277F3
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EW57711.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:12.99	チェックサム:	7C4D33EC
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EW57711\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:19.34	チェックサム:	7F83B8E3
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EWXFRAME.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:17.81	チェックサム:	23C180CD
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$EWXFRAME\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:18.20	チェックサム:	B64AAAFCD

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYS\$LDR]SY\$FGEDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$FGEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000098"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-FEB-2013 15:35:00.03	チェックサム:	A0517CD8

- [SYS\$LDR]SY\$GHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"DW V8.4-100903"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:59:16.70	チェックサム:	9D71158B

- [SYS\$LDR]SY\$GLDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:47.42	チェックサム:	E58D5824

- [SYS\$LDR]SY\$GLDRIVER\_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:50.51	チェックサム:	DC02EB42

- [SYS\$LDR]SY\$GSPBTDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:27.30	チェックサム:	8D292EB3

- [SYS\$LDR]SY\$GSPDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:32.81	チェックサム:	B655810B

- [SYS\$LDR]SY\$HIDDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HIDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:28.55	チェックサム:	16BEF158

- [SYS\$LDR]SY\$HUBDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HUBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:30.33	チェックサム:	86E3F8C1

- [SYS\$LDR]SY\$HWP0001.EXE

イメージ名:	"SYS\$HWP0001"	ビルド ID:	"0100000000"
--------	----------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-35"                  | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 14-MAY-2010 23:10:27.37 | チェックサム:  | 3083FF7         |
- [SYSS\$LDR]SYSSHWP0004.EXE
 

イメージ名:	"SYSSHWP0004"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:30.81	チェックサム:	BEFFC254
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IKUDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IKUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:07.43	チェックサム:	3D49C68C
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IKXDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IKXDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:15:47.02	チェックサム:	8C69C757
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IMUDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IMUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:13.84	チェックサム:	9FF28778
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IPC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"V1.3-X03E-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:32.40	チェックサム:	FFAB881E
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$KBDDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$KBDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:33.40	チェックサム:	5F935882
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LAN"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:37.45	チェックサム:	5D4C63C6
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN\_CSMACD.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LAN_CSMACD"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:39.89	チェックサム:	19C23370



ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-JAN-2014 12:35:10.41	チェックサム:	21B78BFA
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGADRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGADRIVER"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:43.37	チェックサム:	A7BF9A35
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGQBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:48.71	チェックサム:	A295000C
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGQDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:49:55.69	チェックサム:	AC4C7400
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKDDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	9-SEP-2011 13:36:15.09	チェックサム:	B514E52C
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKMBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:48:55.97	チェックサム:	87CBAC44
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKMDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:49:26.95	チェックサム:	904E4821
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKRBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKRBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000073"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-APR-2012 20:44:43.99	チェックサム:	B05474E1
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKRDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:38.48	チェックサム:	E322DA7

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$PKWDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:51:10.63	チェックサム:	D54F31DE

• [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

イメージ名:	"SYS\$PLATFORM_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:31.30	チェックサム:	641EA930

• [SYSEXE]SYS\$READ\_TIME\_ZONE\_RULE.EXE

イメージ名:	"SYS\$READ_TIME_ZONE_RULE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:41.25	チェックサム:	1F71AED4

• [SYSLIB]SYS\$SETBOOTSHR.EXE

イメージ名:	"SYS\$SETBOOTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SB V6.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:19.00	チェックサム:	53D38BCD

• [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:32:50.69	チェックサム:	E07ACE65

• [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.96	チェックサム:	51BE4C5

• [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

イメージ名:	"SYS\$TRANSACTION_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000114"
ファイル ID:	"V2.1-X035-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-AUG-2013 12:29:33.65	チェックサム:	877D55D7

• [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$UGDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:09:08.68	チェックサム:	A71A64C6

• [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$UHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
--------	-------------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-5"                   | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 29-OCT-2012 17:14:38.21 | チェックサム:  | 70AD4BB8        |
- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$USBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:31.87	チェックサム:	AAD4A2E2
  - [SYS\$LDR]SYS\$UTC\_SERVICES.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$UTC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000126"
ファイル ID:	"DTSS T0.0-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-JAN-2014 10:33:28.01	チェックサム:	1CD4B7DC
  - [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$VLANDRIVER"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:28.03	チェックサム:	A718E076
  - [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$VM"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:54:45.90	チェックサム:	3E175CF2
  - [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$XFCACHE"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:11.69	チェックサム:	6D151B5D
  - [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYS\$XFCACHE_MON"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:22.70	チェックサム:	E0CB74B5
  - [SYSEXE]SYSBOOT.EXE
 

イメージ名:	"SYSBOOT"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-154"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:50.20	チェックサム:	22B8B7B1
  - [SYSEXE]SYSGEN.EXE
 

イメージ名:	"SYSGEN"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.59	チェックサム:	4F07F1F9

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

イメージ名:	"SYSGETSYI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:29.79	チェックサム:	73E9C6B1

• [SYSEXEXE]SYSINIT.EXE

イメージ名:	"SYSINIT"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-128"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:00.32	チェックサム:	2527AE0E

• [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.EXE

イメージ名:	"SYSLDR_DYN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:31.51	チェックサム:	7DCF2B47

• [SYSEXEXE]SYSMAN.EXE

イメージ名:	"SYSMAN"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X01-22"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.93	チェックサム:	AA73A266

• [SYSMSG]SYSMGTMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMGTMSG"	ビルド ID:	"0100000068"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-MAR-2012 10:35:26.73	チェックサム:	F5F818D0

• [SYSMSG]SYSMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMSG"	ビルド ID:	"0100000069"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:03:48.70	チェックサム:	9CA105D3

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:51.90	チェックサム:	2CB6F89A

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:20.11	チェックサム:	341149A3

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES_MIN"	ビルド ID:	"0100000141"
--------	-------------------------	---------	--------------



- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-5"                   | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 17-SEP-2014 16:55:32.88 | チェックサム:  | A2038794        |
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:52.40	チェックサム:	161C2D6A
  - [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_MIN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:50.40	チェックサム:	D14A8BAA
  - [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_UNI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:53.59	チェックサム:	D6B3BD38
  - [SYSEXE]TDF\$SET\_TIMEZONE.EXE
 

イメージ名:	"TDF\$SET_TIMEZONE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:45.59	チェックサム:	80AF45CC
  - [SYSS\$LDR]TR\$DEBUG.EXE
 

イメージ名:	"TR\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.03	チェックサム:	52C5C475
  - [SYSLIB]TR\$SDA.EXE
 

イメージ名:	"TR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-18"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.48	チェックサム:	581D8D55
  - [SYSLIB]TRACE.EXE
 

イメージ名:	"TRACE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.3-003"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:16:03.43	チェックサム:	C71D9CD2
  - [SYSEXE]TYPE.EXE
 

イメージ名:	"TYPE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:54.13	チェックサム:	33BD59CC



- [SYSUPD]AUTOGEN\_LM.COM
- [SYSUPD]BACKUP.CLD
- [SYSUPD]BACKUP.HLP
- [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB
- [SYSMGR]BOOT\_OPTIONS.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG\_LAN.COM
- [SYSSLDR]CNX\$DEBUG.STB
- [SYSUPD]COPY.CLD
- [SYSUPD]CRTL.HLP
- [SYSLIB]CXXL\$ANSI\_DEF.TLB
- [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
- [SYSUPD]DCLDICT.HLP
- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB (updated by DECC\$RTLDEF.FOR\_RELEASE)
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_3DES.C
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.R32
- [SYSSLDR]ERRORLOG.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.STB
- [SYSSLDR]F11BXQP.STB
- [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL.COM

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.STB
- [SYSEXE]INS\_STARTUP.COM
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYSS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE
- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP\_EXAMPLE.C
- [SYSEXE]LDAP\_LOCALUSER\_DATABASE.TXT\_TEMPLATE
- [SYSLIB]LIB.L32
- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ
- [SYSLIB]LIBOTS.OLB
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSSLDR]LNMS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]LOCKING.STB
- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA\_UTIL\_HELP.HLB
- [SYSSLDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXE]PCSI\_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXE]PCSI\_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXE]PING.EFI

- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSSLDR]RMS.STB
- [SYSSLDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYSSLDR]SECURITY.STB
- [SYSSLDR]SECURITY\_MON.STB
- [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.STB
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.TXT
- [SYSSLDR]SHELL16K.STB
- [SYSSLDR]SHELL32K.STB
- [SYSSLDR]SHELL64K.STB
- [SYSSLDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXEXE]SHUTDOWN.COM
- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYSSLDR]SWISS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CTDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DADDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DNDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DQDRIVER.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSSLDR]SYS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EI1000\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW5700\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$FGEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$GHDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$GSPDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$HIDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$HUBDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$IKUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$IKXDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$IMUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$IPC\_SERVICES.STB
- [SYSSLDR]SYS\$KBDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$LAN.STB
- [SYSSLDR]SYS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYSSLDR]SYS\$LASTDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYS\$LIB\_C.TLB
- [SYSSLDR]SYS\$LLDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$MEMORYDISK.DAT
- [SYSSLDR]SYS\$MKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$OHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PGADRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PGQDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PKDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$PKMDRIVER.STB

- [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYS\$STARLET\_C.TLB
- [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.STB
- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$LDR\_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.STB
- [SYSUPD]SYS\_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXE]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL\_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050\_SHADOW\_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE\_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0200\_COVER.TXT
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0500\_COVER.TXT

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL\_LANGUAGE.COM
- [SYSEXEC]VMS\_BCFG.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_LOADER.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SET.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SHOW.EFI